

投資事業評価調書 (新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 竹谷 徹 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 1 9 億円 (内用地補償費 約 5 億円)
		特定交通安全施設等 整備事業 (主) 香住久美浜線	豊岡市小島～気比		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
豊岡市気比～小島				平成 16 年度	平成 21 年度

事業目的	事業内容
交通安全対策 ・交通量の多い当該道路に自転車歩行者道（歩道橋を含む）を整備し、歩車の分離を図ることにより交通安全対策を推進する。	自転車歩行者道整備（片側） L = 7 1 5 m W = 3 . 0 (3 . 5) m (単独歩道橋設置を含む) L = 3 4 5 m W = 3 . 0 (3 . 8) m < 現況 > 歩道なし

評価視点	評価内容
(1) 必要性 快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車 4,723 台/日、歩行者 22 人/日、自転車 191 台/日) ・過去 5 年間に自転車・歩行者の交通事故件数 (2 件) ・死傷事故率 (164 人 / 億台 k m) ・港地区の中学生が対岸の港中学校(約 250m)に通う唯一の通学路であり、周辺には、津居山港や但馬五社の一つである絹巻神社のほか、気比の浜海水浴場、かんぼの宿、円山川公苑などの観光施設があり、多様な交通状況である。 ・自動車交通量が多いにもかかわらず、歩道がないために港地区の中学生の安全な通学に支障となっており、特に冬期は、橋梁上の強風、低温や降雪・積雪により、一層危険な状況となっている。 ・住民参加による交通安全総点検実施地区によって、歩道橋設置の必要性が指摘された。 ・連続性の確保 (前後の整備状況・・・ 終点側整備済み) ・幅広の歩道の整備 (3 . 5 ~ 3 . 8 m) ・地区の全世帯アンケートを実施したところ 8 0 % 以上の回答があり、関心の高さを示している。また、そのほとんどの回答が歩道橋の必要性を訴えている。 ・参画と協働のもと、住民参画により計画案の作成を、P I (パブリックインボルプメント) 手法により行った。(単独歩道橋の架橋位置(案)は現橋梁の下流側)
(2) 有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車及び歩行者の安全な通行が確保され、整備効果が期待できる。 ・現橋梁への歩道橋の添架は、老朽橋であるため困難である。 ・円滑な用地取得に向けて、地元の協力体制等事業執行環境が整っている。
(3) 環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・絹巻神社の背後の山が県指定文化財の天然記念物に指定されていることに配慮し、自転車歩行者道を川側に設置する計画とした。
(4) 優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該箇所は港地区の中学生が、対岸の中学校に通う唯一の通学路となっているが、自動車交通量が多いにもかかわらず、現橋梁に歩道がないため、事故の発生が懸念されている。特に冬期には橋梁上の強風、低温、降雪、積雪により、安全な自転車、歩行者の通行に大きな障害となっている。このため、早急に自転車歩行者道（歩道橋を含む）の整備を図る必要がある。